

ここから先の分解は未掲載部分なので、少し詳しく掲載していきましょう

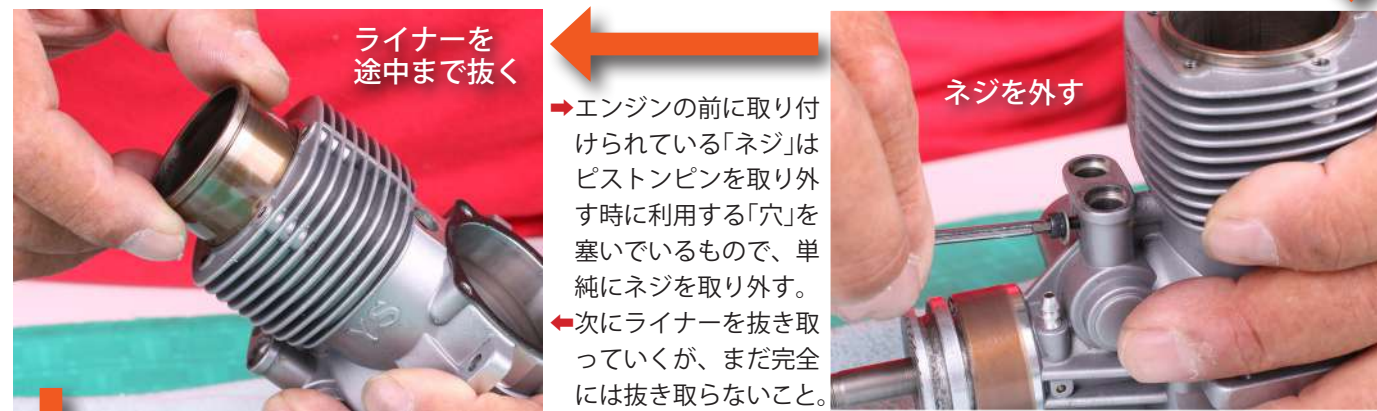
**カムフォロワーを抜き取る**



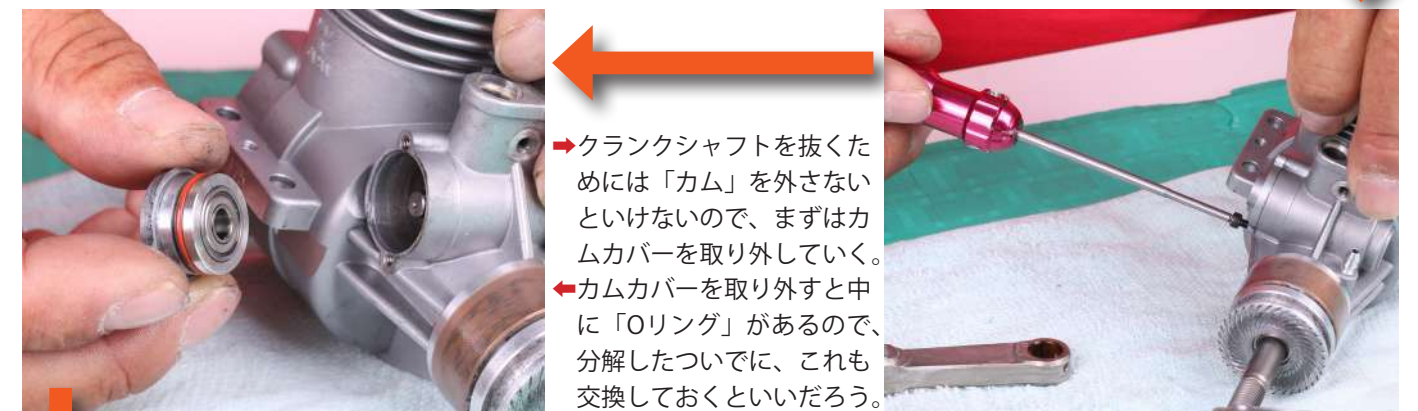
取り外したカムフォロワー  
 ←↑プッシュロッドの下には「カムフォロワー」が挿入されているので、そっと抜き取っていく(カムフォロワーには上下があるのでよく見ておくこと)。



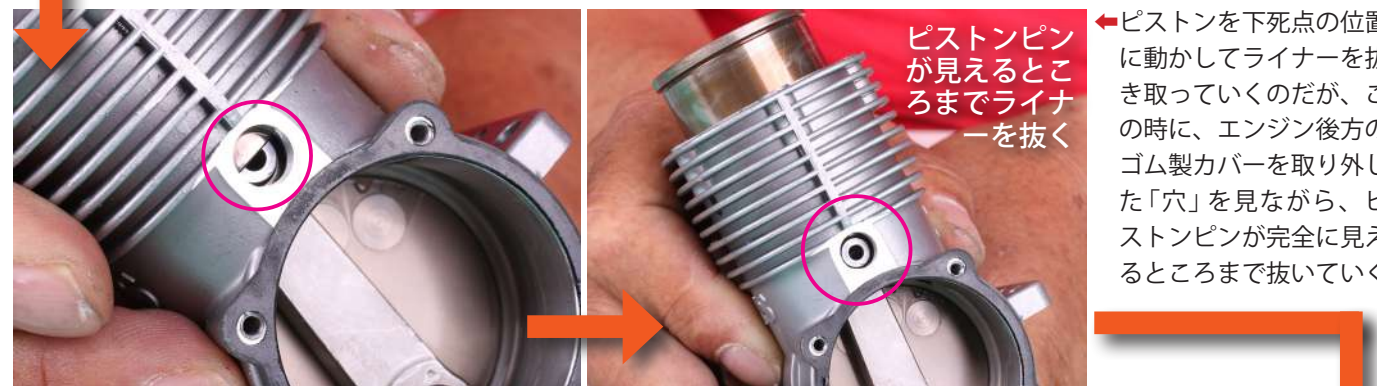
ライナーを抜くとピストンも一緒に抜けるので、この状態のまま保管しておこう  
 コンロッドを外す  
 ←↑ピストンピンを抜くと、ライナーと一緒にピストンも取り外せる。次にクランクシャフトを上死点の位置に回転させて、コンロッドを取り外していく(注※上死点でなくては外れない)。



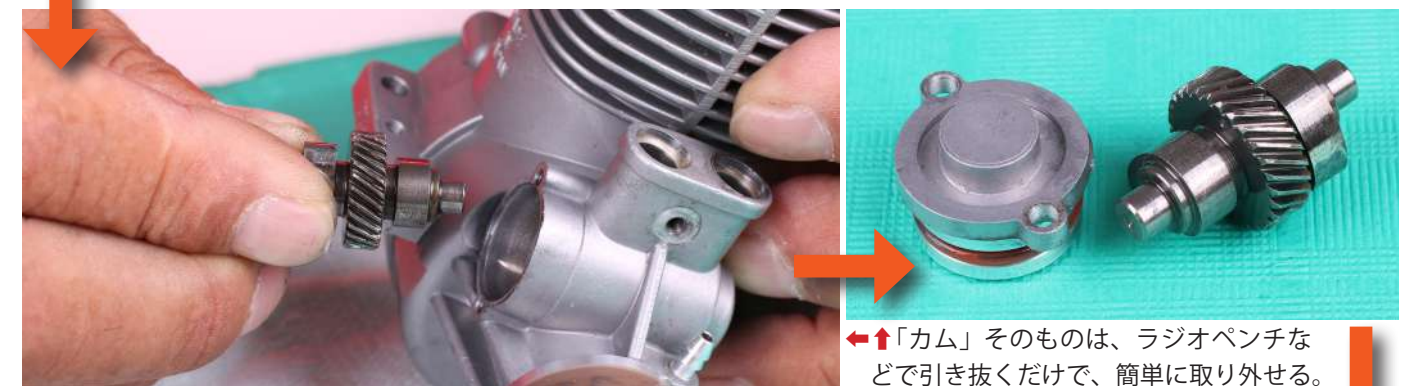
ライナーを途中まで抜く  
 ネジを外す  
 →エンジンの前に取り付けられている「ネジ」はピストンピンを取り外す時に利用する「穴」を塞いでいるもので、単純にネジを取り外す。  
 ←次にライナーを抜き取っていくが、まだ完全には抜き取らないこと。



←↑クランクシャフトを抜くためには「カム」を外さないといけないので、まずはカムカバーを取り外していく。  
 ←カムカバーを取り外すと中に「Oリング」があるので、分解したついでに、これも交換しておくといいたいだろう。

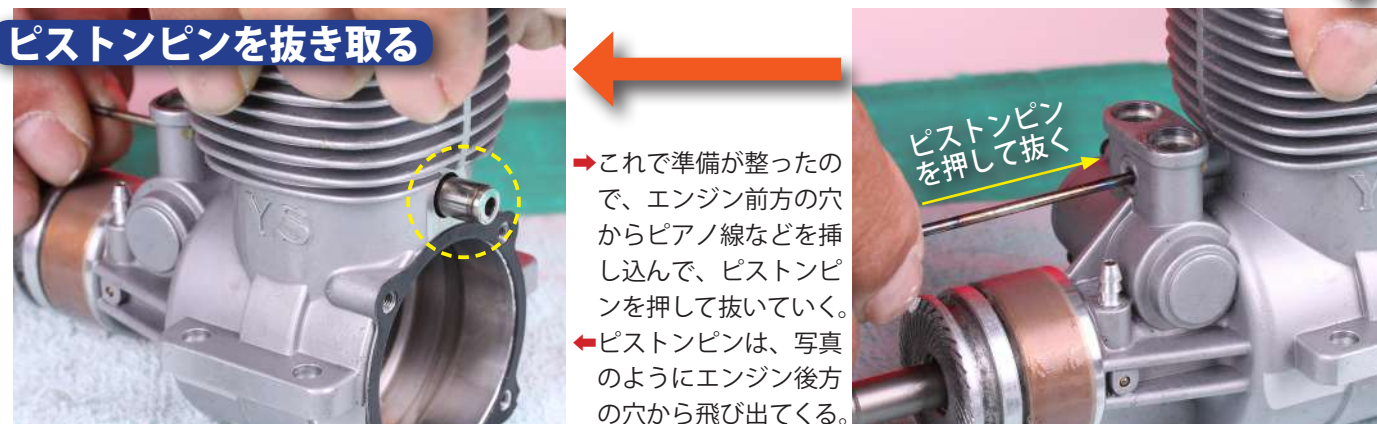


←ピストンを下死点の位置に動かしてライナーを抜き取っていくのだが、この時に、エンジン後方のゴム製カバーを取り外した「穴」を見ながら、ピストンピンが完全に見えるところまで抜いていく。



←↑「カム」そのものは、ラジオペンチなどで引き抜くだけで、簡単に取り外せる。

**ピストンピンを抜き取る**



←これで準備が整ったので、エンジン前方の穴からピアノ線などを挿し込んで、ピストンピンを押し抜いていく。  
 ←ピストンピンは、写真のようにエンジン後方の穴から飛び出てくる。  
 ピストンピンを押し抜く

**ドライブワッシャーを抜き取る**



←市販のベアリングブローラーを使って「ドライブワッシャー」を抜き取り、続けて「テーパコレット」も取り外していこう。  
 ←これでクランクシャフトが取外せる。  
 テーパーコレット